

「水道広域化推進プラン(案)」に対するご意見と回答

ページ	意見	回答	対応区分	意見者	
1	-	広域連携による業務効率化など経営基盤強化を検討するが、基礎自治体単位が基本となる中山間地域の物理的な「壁」が効率化を阻んでおり、ソフト面・ハード面とも改善提案はあるが、いずれも長期的な視点で効果的な取組に繋がらない、実効性の低いと感じている。経営統合による人件費削減の効果も限界があり、無人化(遠隔化)などで縮減となっても現状の取組みでは限界があると考え。基礎自治体単位の生活基盤となる「まちづくり」を見直し、コンパクトシティをめざして、中山間地域の居住を抑制し、抜本的な改革をお願いしたい。	「広域化・共同化」は上下水道事業を持続可能なものとする手法の一つですが、「コンパクトシティ化」という考え方も選択肢の一つとして挙げられると考えます。特に広域化などの手段が難しい市町村においては、コンパクトシティ化も含めた様々な手法が検討の俎上にのぼるよう、市町村に情報提供していきたいと思ます。	反映しない (計画外で対応)	鳥取市 50歳代
2	-	水道・下水の広域化によって我が町の料金はどうなっていくのか。広域化による料金統一もあるか。長期間の断水などがないようにしてほしい	事業の現状や課題を踏まえれば、将来的な料金上昇は避けられないと考えます。そのため、安心安全な水の供給を担保しつつ経費削減に努めるとともに、今後の料金上昇幅を最小限にとどめるための手法の一つとして、広域化・共同化についても真摯に検討していくべきだと考えております。	盛込済	湯梨浜町 50歳代
3	-	施設等の統合という言葉をよく耳にしますが、大規模になればなるほど事故や故障が発生した時の影響が大きくなると思います。小規模でも、現状は維持して、早く処理することも大事だと思います。現施設が何かの原因で動かなくなった非常事態に備えて、他施設へ繋げておくのはよいと思います。	施設統廃合を検討するにあたっては、効率化だけではなく、災害時や緊急時の安全性の面でも評価のうえ、市町村自ら実行の可否を検討していくこととしております。	反映する	湯梨浜町 40歳代
4	-	将来の人口減少、少子高齢化の状況を考えると広域化、共同化による業務の効率化は避けて通れないものと思っています。実施にあたっては現状と課題を明確にして、どのような効果があるのか、コストはどうなっていくのかなど、メリット、デメリットを分かりやすく説明できるようにしていただきたい。また、関連する市町村の行政関係者、地域住民へも説明を十分にいただき、将来にわたって有意義な広域化・共同化になるようお願いをしたい。	本計画に記載した検討メニュー案については、今後、関連市町村等で詳細な検討を行います。検討にあたっては、メリット・デメリットを含めて幅広い検討を行ったうえ、広く住民に情報を共有しながら進めていくよう考えております。	盛込済	倉吉市 60歳代
5	-	水道施設はあちこちにあるが、本当にこんなに必要なのか。削減できるものはあると思うが、施設の削減案がほとんどないのはなぜか。安易に水道料金を上げようとする前に、まず削減できるところを徹底的に切り詰める姿勢を見せてもらわなければ納得いかない。	市町村域を跨ぐ統廃合案は地形的な制約が大きいため数が少ないですが、市町村内における統廃合については、人口減少を見据えながら各市町村で検討を進めているところであり、今後もダウンサイジングや効率化に努めて参ります。	盛込済	鳥取市 40歳代
6	-	平野の多い地域と山間部、人口密集地と過疎地、長い年月をかけてそれぞれの地域特性に合わせて整備されてきた水道施設ですので、水道料金や整備状況に差が生じてくるのは理解できました。今後、全ての自治体で水道を維持させていくためには広域化は必須であることも理解できました。そのためには、文中にあったように香川県等のような経営統合がベターでしょうが、それには時間も労力もかかりそうです。いっそのこと、電力事業や郵便事業のような国営に近い経営体制に変更すれば、全ての地域の水道事業(下水道も)が公平に維持できるのでは、とも考えますが、これも現実的ではないですね。生活に必要なライフラインですが、水道料金の上げ下げや整備の実績などが選挙の公約にされるような事案を思えば、市町村に決定権がある現在の体制はどうにかならないものかと思ます。	先人たちが知恵を絞って作り上げてきた水道施設については、更なる効率化を進めたいと後世に引き継いでいく必要があると考えています。現在の制度で可能な取組みについては今後も幅広く検討を行っていくよう、県・市町村それぞれの立場で引き続き取り組んで参りたいと思ます。	反映しない (計画外で対応)	鳥取市 50歳代